

コミュニティマネジメント・リサーチ説明資料

(秋学期 / 金曜 / 3限 / 土肥・水野)

■ 講義の狙いと目的

この講義は、地域やコミュニティの現状・課題に関する問いを組み立て、現地フィールド調査を実施するための調査方法や調査技法を、教員との個別指導を通じて具体的に探っていく科目です。コミュニティマネジメントを学ぶために必要な基本的な視点、姿勢(マナー)、技法等を修得することを目標とします。担当教員の指導(2021年度は、土肥将敦・水野雅男の2名体制+TA)のもとで、地域やコミュニティの現状に関するデータ収集、質問票の作成ののち、現地での調査(オンラインを含む)を実施し、それをまとめながらコミュニティ再生のための方策を考察して、報告書をまとめることをミッションとします。

■ 2018～2020度の主な「テーマ」と「調査フィールド先」例

- ✓ 「町並みを活かした地域の魅力向上」(奈良県宇陀市／松山地区はならあと実行委員会)
- ✓ 「住む町」としての都市郊外の課題とサステナビリティ」(神奈川県緑区／若葉台自治会ほか)
- ✓ 「都市と地方を繋ぐ拠点づくり」(株式会社 OReNAS、Tomoshihi)
- ✓ 「地元住民と「よそ者」の対話」(島根県海士町／移住者と住民)
- ✓ 「ソーシャルムーブメントの起こし方」(ミズベリングプロデューサー)
- ✓ 「全面喫煙可能カフェの実態」(神保町の6つのカフェ)
- ✓ 「廃校をどう活用するか」(立川市／たまがわ・みらいパーク／たちかわ創造舎)
- ✓ 「空き家の管理と利活用」(東村山市役所／NPO 法人空家・空地管理センター)
- ✓ 「Jリーグクラブと地域コミュニティ」(株式会社川崎フロンターレ／川崎フロンターレ後援会)
- ✓ 「サードプレイスの探求」(国立市/カフェこたの)
- ✓ 「食品ロスをどうなくすか」(多摩市/NPO 法人シェアマインド)
- ✓ 「修景事業とまちづくり」(長野県小布施町)
- ✓ 「オーバーツーリズム脱却には何が必要か」(合掌ホールディングス(株))
- ✓ 「地域づくりインターンの会の活動が地域に及ぼす影響」(熊本県小国町)、ほか

* テーマ設定は、「とことん知りたい!」と思うものを自分で見つけることから始まります。

■ こんな人に向いています

- ✓ 地域で起きている問題や社会現象について、自らフィールドに足を運んで探求したい人
- ✓ 報告書を作成するプロセスを通して、文章力を向上させたい人
- ✓ 卒業論文等で使える調査技法(インタビュー法や参与観察法)を学び、調査能力を向上させたい人
- ✓ 2名の教員からいろいろなコメントをもらうプロセスを通して、多様な専門知識を習得したい人
- ✓ フィールドに入って行く際の、マナーやお作法等を身につけたい人
- ✓ 毎回の講義に出席し、自分に与えられたテーマ報告や調査報告をしっかりと行える人

■ その他(注意)

この講義の定員は最大20名です(定員オーバーの場合、秋学期ガイダンス時に提出書類に基づき、人数調整があります)。また、11月中に大学での講義がない「調査期間」を設定しています。詳しくは、9月の初回ガイダンス時(要出席)の資料で確認してください。また、初回ガイダンス時には、自分が調査してみたい「テーマ(案)」や「フィールド先(案)」についてのレジュメを持参することが必要です。関心をもった新聞記事・雑誌記事等を添付の上、興味をもった理由やその問題の背景をA4で1ページ程度にまとめ、3セット印刷(教員+TA分)して持参してください。